

単元案の概要

テーマ
主体的に『舞姫』を読む
目標
学習レベル 4+ (高校3年生の日本人の現代文の授業で実施)
○ 自分の力で文学作品に興味を持ち読み進めることができる
○ 内容が伝わる効果的なプレゼンテーションの方法をグループで模索し実施する
○ さまざまな角度からグループで検討し、そこから導かれた自分の考え、見解を他者に伝えることができる
○ 他のグループのプレゼンテーションをルーブリックを用いて、妥当性のある評価をし、良い点や改善点についての的確に表明できる
○ 文学作品の面白さを感じとり、積極的な読書活動につなげる
コミュニケーション能力指標
自 4-b ライフストーリーや手記を読んで概要を理解できる。
自 4-c 家族について書かれた文章を読んで、家族のありかたについて意見交換できる。
日 4-c いろいろな人のライフスタイルについての記事を読んで、そこから学んだことを話し合うことができる。
趣 4-e 多様なライフスタイルに関する記事を読んで、労働と余暇について自分の意見をレポートにまとめることができる。
交 4-d 日本と相手国との交通システムについて書かれた文章を読んで、それぞれの特徴を比較しながらレポートにまとめたり、口頭で発表できる。
地 4-d 日本と相手国の関係(文化、歴史、政治、経済など)について調べ、自分なりの意見をレポートにまとめることができる
ことば 4-a 辞書にのっていないことばについてインターネットで調べ、意味を理解できる。
ことば 4-h グローバル化した社会の中で、外国語を学ぶ意味を考え、意見交換できる。
学習シナリオ
〈場面状況〉 公立高校3年生の現代文の時間。生徒は講義形式の授業に慣れているが、個人、グループ活動の中で、自分たちで考えて文学作品の内容を理解することにチャレンジする。
〈活動の流れ〉 ・『舞姫』の冒頭部分(英語)を翻訳し、各国語に翻訳されている現状、受け止められ方について学ぶ ・舞台となっている時代、場所などについて話し合う

- ・ 個人で全文を読んだ後、4人程度のグループに分かれ、10の段落に分ける
- ・ 自分たちが担当する段落について、分からない単語、漢字などを調べ、話の展開や重要な部分について話し合い、発表できるように準備する
- ・ 内容が伝わるような効果的な発表を行う
- ・ 自分のグループ、他のグループの発表をつながりをもって理解し、感想や疑問点を書き出す
- ・ 自分のグループに寄せられた疑問や感想について考え、共有する
- ・ グループでの取り組みについて自己評価を行う
- ・ 個人で内容を整理するワークに取り組み、自分の理解度をふりかえる
- ・ 近代日本、あるいは人間の生き方、について、時代背景や作品の内容もふまえて考える
- ・ 一貫する自己評価を書き、継続的な取り組みについて振り返る

総括的評価

- ・ グループでの発表
- ・ 個人で取り組むワークの完成度
- ・ 自己評価シート

3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">知識・理解</div> <p><u>言語が分かる</u></p> <p>語彙、表現、漢字などの言語事項 日本語独特の表現や美しさ 他に学習している言語との比較</p>	<p><u>文化が分かる</u></p> <p>自他の文化がわかる 自文化とそれ以外の文化（時代・場所・性別など）を比較し、違いや関係性に気づいたり、推測したりする</p>	<p><u>グローバル社会の特徴や課題がわかる</u></p> <p>グローバル社会の一員としての自覚を持ち、グローバル社会の特徴や直面する課題について理解する グローバル社会に生きるために、21世紀型スキルを身につけることが必要であることを理解する</p>
できる	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">書く能力</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">読む能力</div> <p><u>言語を運用できる</u></p> <p>文章を読み、情景や心情を読み取ることができる 日本語を一言語として客観的にみることができる</p>	<p><u>文化を運用できる</u></p> <p>自文化とその他の文化を比較し、知識、情報を活用しながら共通性や相違性を分析する。 文化事象の背景にある考え方や価値観などを研究し、自分の考えを表明することができる 文化の多様性や可変性といった文化を見る視点を身に付け、自文化を再認識したり、ほかの文化事象に適用したりすることができる</p>	<p><u>21世紀型スキルを運用できる</u></p> <p>さまざまな文化的背景をもつグループの一員として、メンバーと意見交換したり、グループ全体の目標を達成するために、自分の役割を責任を持って果たすことができる 問題を解決するために、資料、状況を客観的に解釈・分析・吟味して判断し、自分の考えを根拠に基づいて表明することができる 情報・メディア・テクノロジーの特性を生かして相互作用的に活用できる</p>
つながる	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">話す・聞く能力</div> <p><u>言語を使って他者とつながる</u></p> <p>積極的、主体的に他者と会話をして相互作用しながら共に関係を作り上げていく 発表、グループ活動を行う</p>	<p><u>多様な文化的背景を持つ人とつながる</u></p> <p>多様な文化的背景をもつ人びとと主体的かつ積極的に関わり、相互に作用しながら、軋轢や摩擦を乗り越えて付き合う</p>	<p><u>グローバル社会とつながる</u></p> <p>人・モノ・情報にアクセスして、自分とつながりのあるグローバル社会のネットワークに関わり、ネットワーク全体の目標達成やグローバル社会づくりのために自分の能力、知識、時間などを提供したり、メンバーと助け合い協力して行動する</p>
三連携	<p>連携1（学習スタイルとつながる）：自己評価シートを用い、目に見える形にする 連携2（他教科の内容とつながる）：教科間連携 連携3（教室外の人・モノ・情報とつながる）：興味をもち、どこまで繋がっていきけるか</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">関心・意欲・態度</div>	

評価ルーブリック (『舞姫』調べ学習、グループ発表の際)

テーマ:『舞姫』の各段落の内容について効果的に発表する


指示文:(あらかじめルーブリックを配布し) このルーブリックで高得点を得られるような発表をして下さい

- ・ プレゼンテーションの長さは指示しない。内容に見合った時間を考える。
- ・ プレゼンテーションの絵を一枚用意すること。
- ・ その他、プリントを配布する、スライドを映す、など工夫は自由にして良い。

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し! (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)	得点
内容 ×2	自分たちで調べ、興味を喚起するような内容がある	正確に理解し、事実を伝えることができる	不足している部分が一部ある	不足している部分が多く見られる	/6
声の大きさ	メリハリがあり 眠気も吹き飛ばす	教室にいる全員が 自然に聞き取ることができる	教室にいる全員が注意深く聞くことで聞き取ることができる	場所によっては聞き取れないことがあった	/3
流暢さ 話の長さ	思わず話に引きこまれ十分な発表時間であったにもかかわらず、もっと聞きたいほどであった	内容に応じた長さであり、最後まで興味を持って話を聞くことができた	少し長く(短く)感じた。多少途切れることがあった。	とても長く(短く)感じた。何度も中断や誤読があった。	/3
プレゼンテーションの絵 ×2	内容を効果的に伝える役割を果たしている	内容が伝わる	伝えたいことが十分には伝わらない	なくてもよかった	/6
チームワーク ×2	それぞれが適材適所で個々の能力を発揮している	全員が関わっていることが分かる	2人でやっている	1人でやっている	/6
総合点	コメント				/24

目標の要素分解

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
<ul style="list-style-type: none"> 内容について理解する グループのメンバーの個性を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的なプレゼンテーションになるようシナリオについて話し合う 	グループでの発表	主体的に『舞姫』を読む
<ul style="list-style-type: none"> 絵を描く、何か小道具を作る、などの準備をする 	<ul style="list-style-type: none"> ループリックで高評価を得るためにどのような工夫を入れるのかを考える 		
<ul style="list-style-type: none"> 他のグループに発表を聞き、疑問点は解消し、理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 内容について理解する 	個人で取り組むワークの完成度	
<ul style="list-style-type: none"> 継続して授業に出席する 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で振り返ることのできる自己評価シートを毎時間記載する 	自己評価シート	
<ul style="list-style-type: none"> 正しく自己評価をし、自分の得意とするところ、苦手とするところを認識する 			

<p>自分で読むぞ!</p> <p>『舞姫』(森鷗外)</p>  <h2>自己評価シート</h2> <p>3年()組 氏名:</p> <p>グループ () ()</p> <p>() ()</p> <p>【評価のめやす】</p> <table border="1"> <tr> <td>3 思ったよりもできた</td> <td rowspan="5"> 【ポイントとなる力】 A 関心・意欲・態度 B 話す・聞く C 書く D 読む E 知識・理解 </td> </tr> <tr> <td>2 思ったことができた</td> </tr> <tr> <td>1 努力が必要</td> </tr> <tr> <td>0 欠課</td> </tr> </table>	3 思ったよりもできた	【ポイントとなる力】 A 関心・意欲・態度 B 話す・聞く C 書く D 読む E 知識・理解	2 思ったことができた	1 努力が必要	0 欠課	第1時間 月 日 曜日 時間目	第2時間 月 日 曜日 時間目
	3 思ったよりもできた		【ポイントとなる力】 A 関心・意欲・態度 B 話す・聞く C 書く D 読む E 知識・理解				
	2 思ったことができた						
	1 努力が必要						
	0 欠課						
目標 『舞姫』に興味を持とう!	目標 自分の力で読む準備をしよう!						
A 意欲を持って取り組んだ A 『舞姫』について興味を持った A エピソードやうんちくを語る事ができる B グループでの話し合いに関わった E 森鷗外の作品を3つ以上言える	A 事前の準備をしてきた D 段落分けができた B グループでの話合いで意見を出した A 作品のおもしろい、と思う部分を見つけた E 知らない言葉・漢字を覚えた						
↓ここには自分が「3」と評価できることを書こう		↓ここには自分が「3」と評価できることを書こう					
本日の自己評価の合計点数 (全部で 18 点中)		本日の自己評価の合計点数 (全部で 点中)					
感想・コメント・課題		感想・コメント・課題					

第3時間 月 日 曜日 時間目	第4時間 月 日 曜日 時間目	第5時間 月 日 曜日 時間目	
目標 自分の考えを表現し、他者の考えを知ろう!	目標 グループで読みを深めよう!①	目標 グループで読みを深めよう!②	
A グループで担当する段落の難しい漢字・ E 単語を抜き出し、調べた C 感想や疑問をノートに書いた C 友人の文章を読み、コメントを書いた	D 担当する段落を読み深めた A 積極的に活動に参加した B 自分の意見を出した B 他者の意見を聞いた E 漢字・語句の小テストができた	D 担当する段落を読み深めた A 積極的に活動に参加した B 自分の意見を出した B 他者の意見を聞いた E 漢字・語句の小テストができた	
↓ここには自分が「3」と評価できることを書こう		↓ここには自分が「3」と評価できることを書こう	
本日の自己評価の合計点数 (全部で 点中)		本日の自己評価の合計点数 (全部で 点中)	
感想・コメント・課題		感想・コメント・課題	

第6時間 月 日 曜日 時間目		第7時間 月 日 曜日 時間目		第8時間 月 日 曜日 時間目	
目標 魅力的な発表をしよう!		目標 魅力的な発表を探そう!		目標 発表を振り返ろう!	
B	自分のグループの発表ができた	B	自分のグループの発表ができた	B	発表を振り返り、他のグループからの
B	他のグループの発表を聞き、理解した	B	他のグループの発表を聞き、理解した	B	評価について話し合った
A	正当なループリックを記入した	A	正当なループリックを記入した	A	新しい気づきがあった
D	読みが深まった	D	読みが深まった		
A	内容のある評価(付箋)を書いた	A	内容のある評価(付箋)を書いた		
↓ここには自分が「3」と評価できることを書こう		↓ここには自分が「3」と評価できることを書こう		↓ここには自分が「3」と評価できることを書こう	
	3		3		3
本日の自己評価の合計点数 (全部で 点中)		本日の自己評価の合計点数 (全部で 点中)		本日の自己評価の合計点数 (全部で 点中)	
感想・コメント・課題		感想・コメント・課題		感想・コメント・課題	
第9時間 月 日 曜日 時間目		第10時間 月 日 曜日 時間目		3年()組 氏名:	
目標 『舞姫』の魅力を考えよう!		目標 発展させて考えてみよう!		グループ ()() ()()	
A	グループでの取り組みについて 自己評価することができた	E	近代日本と個人の生き方の関係について 考えた内容を書いた	日の光を借りて照る大いなる月たらんよりは 自ら光を放つ小さな灯火たれ。 	
E	学習課題ノートに取り組んだ	A	自分の取り組みを評価できた		
A	作品の魅力が分かった	D	自分で舞姫を読めた(気がする)	10時間の自己評価合計  点	
↓ここには自分が「3」と評価できることを書こう		↓ここには自分が「3」と評価できることを書こう		達成感(5・4・3・2・1・0)	
	3		3	『舞姫』の学習を終えて	
本日の自己評価の合計点数 (全部で 点中)		本日の自己評価の合計点数 (全部で 点中)		『舞姫』の学習を終えて	
感想・コメント・課題		感想・コメント・課題		感想・コメント・課題	

目標の要素分解

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
『舞姫』の作者、森鷗外の人生を知る	・作品が単独ではなく時代や作者の人生と深いつながりがあることを知る	自分たちで読むことができるための手順を確認し、グループ内で話し合いながら、概要について把握し、他者に伝えることができるまでに読み深める	<状況設定> 高校3年生の現代文の授業。森鷗外『舞姫』を班で段落ごとに担当し、読みを深め、発表を行う <大目標> 自分の力で文学作品を読む
『舞姫』が描かれた時代背景を知る			
『舞姫』の全文を読む	・初見で概要をつかむ ・同じ作品を同年代の人が読んでも感じ方が多様であることを知る		
初見での感想を書く			
クラスメイトと感想を交換し、お互いにコメントを書きあう			
【語彙・文学史についての小テスト】			
グループで話し合いながら10の段落に分ける	・グループの中での自分の役割を見つける		
作品の中の時間の流れ、場面、展開を理解する			
【段落分けシートの提出】	・読解に必要な単語・熟語について調べ、自分もきめ、クラスメイトの理解の補助となる雨林とを作成する ・自分が分からない単語や漢字が出てきたときの調べ方の方策を知る		
グループで担当する段落の難しい漢字・単語・語彙を抜き出す			
必要な語彙、熟語について意味や使い方を調べる			
学習者が修得しやすいようにまとめたシートを作成する			
【語彙・漢字プリントを作成し、提出】	・内容が伝わり、かつルーブリックで高評価を得ることができるプレゼンテーションを検討する		
グループで担当する段落を読み深める			
疑問に思ふ点、一番伝えたい点などをグループ内で話し合う			
評価ルーブリックを検討する	【グループで効果的なプレゼンテーションを行う】		
他のグループの発表を聞く		お互いの発表を通して興味関心を持って読み進め、作品全体の内容を理解する。	
良い点、改善点、疑問点を付箋に書く			
【他グループに対するルーブリック評価を提出】			
自分たちの発表を他グループからの意見を参考に振り返る			
他グループからの質問を検討する			
自分たちの発表の振り返りのコメントをする準備をする			
【短時間で自分たちの発表の振り返りのコメントをする】			
作品の魅力について話し合う	・全体を理解する		
学習課題ノートに取り組む			
【確認ワーク・テストの実施】			
近代日本と個人の生き方について考える	・自分で読むことができた、という感覚を持つ	文学作品のおもしろさを知り、今後の読書活動につなげる	
全体の取り組みを評価する			
【毎時間記入していた自己評価シートの提出】			